

「地域の相談窓口」

「見守りによる安心な街づくり」

瑞穂市民生委員児童委員協議会

瑞穂市は、東に長良川、西に揖斐川が流れ、岐阜市の西に位置する風光明媚な地方都市で面積二八・一九平方キロメートル（東京ドーム約六〇〇個分）、人口は約五万六千人、高齢化率は二一・九パーセントです。瑞穂市民生委員児童委員協議会は、五つの単位民児協から構成されており、定数は八四名で、高齢者や子どもをはじめ地域の安心を守るために日々活動しています。理事会は年八回、外部の講師を招いての研修会は年二回行っています。今回は、五つある単位民児協の中でも生津民児協の活動を紹介します。

生津民児協について

生津地区は瑞穂市の北東に位置し、面積一・九平方キロメートル（東京ドーム約四〇個分）で、人口は約五千六百人、高齢化率は二一・三パーセントです。生津民児協は民生委員七名と主任児童委員二名の合計九名が所属し、月一回の定例会を開いています。定例会では、実際に

あった出来事、成功や失敗例を話し合い、どのように対応すればもっとよくなるか意見を交換しています。

また、困っていることがあれば



生津民児協の定例会の様子

気軽に相談できる雰囲気づくりも大切に行っています。さらに年に一、二回地域住民の福祉向上のための情報収集および相談・支援に役立てることを目的に他市町の介護保険施設、障害福祉施設などへ視察研修を行っています。実際に視察に行き、自分の目で見て、耳で聞くことで民生委員の資質向上に努めています。

また、小学校と中学校の校門で月に一回ずつ約三十分間、子どもたちにあいさつをしながら見守りも行っています。これは生津民児協だけで

なく、瑞穂市内五つの民児協で行っている取り組みです。委員のなかには、民生委員児童委員の業務を超えて、危険な交差点などで登下校時に子どもたちの安全を守るボランティアもされています。「おはよう」や「おかえりなさい」などの声かけをずっとしていると、最初はあいさつを返してくれなかった子も徐々にあいさつを返してくれるようになりました。あいさつが返ってこないからといって、すぐに声かけをやめるのではなく、根気強く継続して活動することが大切なのだと感じました。他にも、小学校や中学校の校長先生や教職員と年二回ほど懇談会を開き、情報共有やコミュニケーションを図り、子どもたちの現状把握にも努めています。



穂積北中学校でのあいさつ運動。
生津と本田の民生委員児童委員が協力して行っています。

強化週間の取り組みについて

毎年五月の「民生委員児童委員活動強化週間」は普段とは違う活動を行いたいと考えています。駅やスーパーなど人が集まる場所は効果的であると考え、今年度は生津地区のスーパーにて広報活動を実施しました。目的は、地域の人々に民生委員児童委員の役割や存在を知ってもらうためです。ある委員は、自分の担当区域を一軒一軒高齢者宅だけでなく、一般宅も訪問して、顔を知ってもらう活動をしています。これらの活動により民生委員の存在を広く周知することが出来た結果、高齢者以外の方からも相談がくるようになりました。民生委員と住民の信頼関係の構築に繋がっていると考えています。

今後について

民生委員は高齢者だけでなく、地域の誰もが相談できる身近な相談窓口です。普段の見守り活動や強化週間などを通じて、より多くの人に民生委員の存在が伝わり、安心して暮らせる街づくりのためにこれからも活動していきたいです。